

グローバル・ヘルスケア & バイオ・オープン Aコース (為替ヘッジあり)

愛称：健太

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2022年7月28日～2023年7月27日

第 23 期 決算日：2023年7月27日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行うことで信託財産の中長期的な成長を目指して運用することを目的としております。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第23期末 (2023年7月27日)

基準価額	39,033円
純資産総額	1,695百万円
騰落率	-2.0%
分配金合計 ^(*)	100円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間 (過去1年間) の運用で主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

ファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、先進的な研究開発力などを背景に中長期での成長が見込まれる銘柄を中心に投資を行いました。

第23期末における主なヘルスケア・バイオ関連株への投資のポイント

ポートフォリオの構築について

ポートフォリオの構築については、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。また、短期的に株価が上昇した銘柄を一部売却し、逆に株価が下落した銘柄を買い増すことで、リスクを低下させつつ魅力的な運用成果を追求する投資を行いました。引き続き、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる銘柄を中心に投資を行います。

新しい医薬品の開発が期待されている分野について 糖尿病と肥満症

この1年ほどの間に、ノボ・ノルディスク社やイーライ・リリー社が手掛けている肥満症や糖尿病の治療薬として、体重を20%程度安全に減量できる新しい注射剤が承認されました。この画期的な新薬は、製薬業界における長期にわたる収益性を示唆しており、将来的にさらに大きな収益が見込めるのは同じ効果が期待できる経口剤であると考えています。患者は使い捨てタイプのペン型注入器を毎週使用していますが、この注射剤を必要とする患者が多く、需要を満たすために供給を拡大するかが課題となっています。経口剤は複雑な生産上の課題はあるものの、より効果的に市場を切り開いていく糸口になると期待しています。糖尿病や肥満症の治療の進歩は、薬だけにとどまらず、インスリンを調節するインスリンポンプも改良されました。血糖センサーの測定に基づきインスリン投与量をコントロールするアルゴリズムを搭載した端末と持続血糖測定器との相互作用も可能になりました。当ファンドにおいてもこれらの有望なパイプライン (新薬候補) を持つ企業に投資を行いました。

がん治療薬

自己免疫機能でがん細胞を攻撃するがん免疫治療薬と呼ばれる抗体医薬品の開発や、がんの増殖などに関係する特定の分子を狙い打ちする分子標的薬の開発が進んでい

ます。特に、現在のがん免疫治療薬の分野においては、プリストル・マイヤーズ スクイブ社及び小野薬品工業のオブジーボや米メルク社のキイトルーダなどが代表的ながん治療薬として知られています。これらのがん免疫治療薬が対象とするがん種は一部であり、今後、他のがん種への適用可能性を探る研究も進められています。また、分子標的薬では、特に抗体薬物複合体 (ADC) の分野に注目しています。ADCは、がん細胞など標的認識に優れた抗体に低分子医薬を適切なリンカーを介して結合させた医薬品で、抗体医薬品と化学療法剤のそれぞれの長所を併せ持つ構造のがん治療薬です。ADCの分野では、第一三共のエンハーツなどが代表的な治療薬として知られています。当ファンドにおいてもこれら企業への投資に加え、多くの製薬会社が新たなながん治療薬の研究及び開発を進めている中で、有望なパイプラインを持つ企業についても投資を行いました。

アルツハイマー型認知症治療薬

国内外に多くの患者が存在し、世界的に高齢化が進みさらなる患者の増加が予想されるアルツハイマー型認知症の治療薬開発にも注目しています。以前より世界の大手医薬品企業が開発を行ってありますが、エーザイとバイオジェンの共同開発によるアデュカヌマブが2021年6月に承認され、続いて同共同開発によるレカネマブが2023年7月に米食品医薬品局 (FDA) に正式承認されました。レカネマブは、アルツハイマー型認知症の発症を引き起こすとされているアミロイドβプラークを減少させる効果があるとして、これまでの治療を大きく変える可能性に期待されています。当ファンドにおいてもこれらの有望なパイプラインを持つ企業に投資を行いました。



ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
シニア・マネージング・ディレクター、
ポートフォリオ・マネージャー兼アナリスト
レベッカ・サイクス

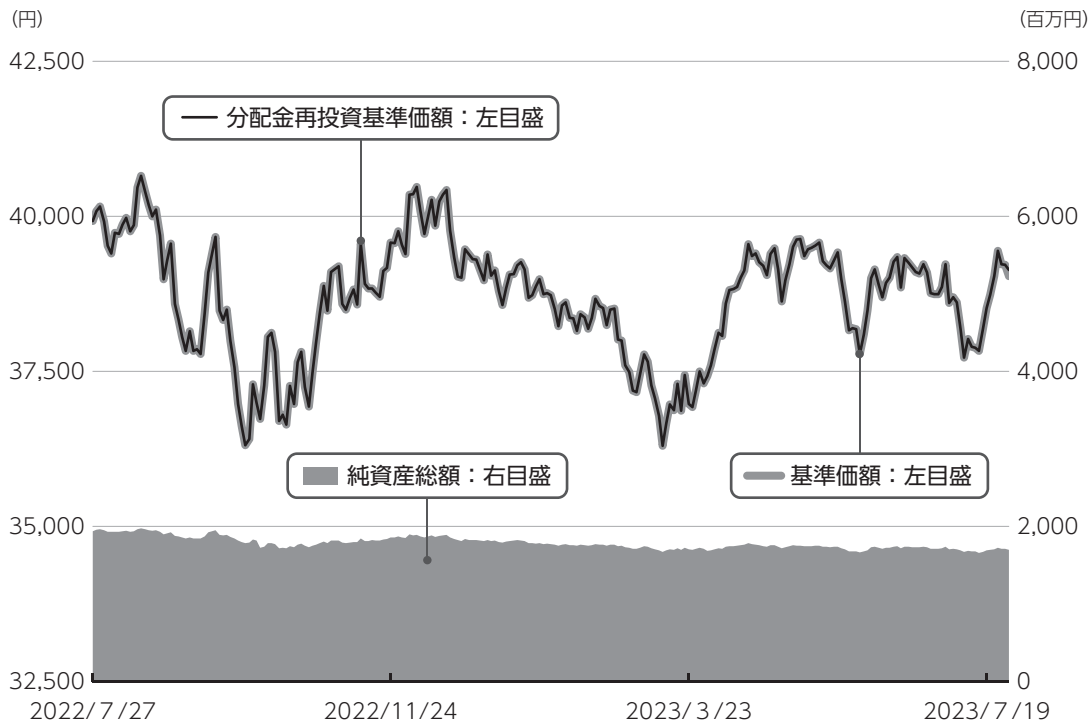
前記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

運用経過

第23期：2022年7月28日～2023年7月27日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第23期首	39,925円
第23期末	39,033円
既払分配金	100円
騰落率	-2.0%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.0% (分配金再投資ベース) の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

保有するイーライ・リリーやエーザイなどの株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

為替ヘッジコストなどが、基準価額の下落要因となりました。

2022年7月28日～2023年7月27日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	936	2.421	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(553)	(1.430)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(340)	(0.880)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(43)	(0.110)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.025	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(10)	(0.025)	
(c) 有価証券取引税	8	0.020	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(8)	(0.020)	
(d) その他費用	10	0.025	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(4)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	964	2.491	

期中の平均基準価額は、38,668円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

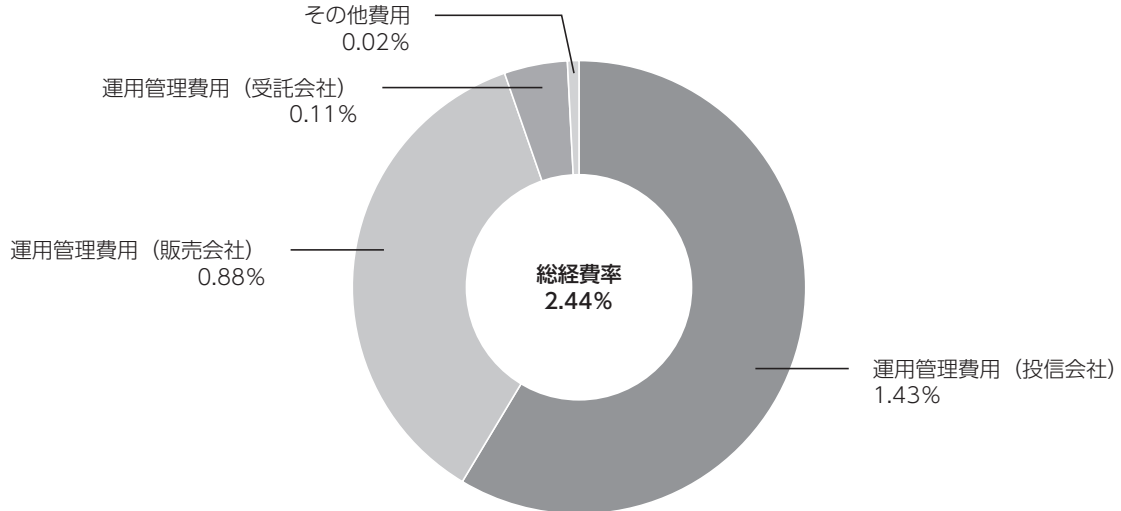
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.44%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年7月27日～2023年7月27日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2018年7月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/7/27 期初	2019/7/29 決算日	2020/7/27 決算日	2021/7/27 決算日	2022/7/27 決算日	2023/7/27 決算日
基準価額 (円)	33,471	33,184	37,989	43,039	39,925	39,033
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-0.6	14.8	13.6	-7.0	-2.0
参考指数騰落率 (%)	—	4.1	18.9	21.6	-2.4	5.4
純資産総額 (百万円)	1,865	1,730	1,879	2,015	1,938	1,695

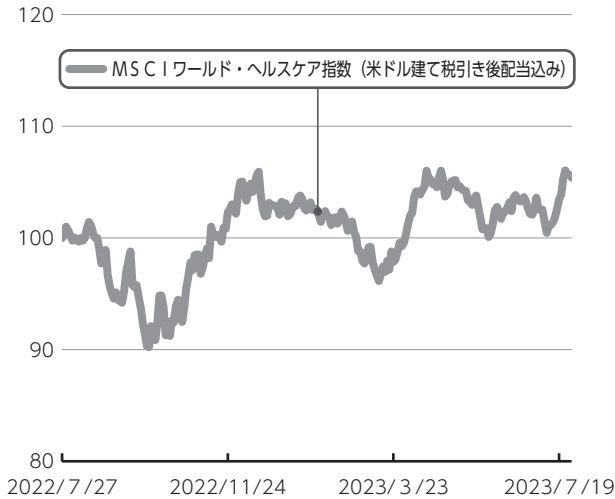
※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数 (米ドル建て税引き後配当込み) の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時 (2000年7月28日) を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

▶ 投資環境について

参考指数の推移 (期首を100として指数化)



▶ 株式市況

株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年10月前半にかけては、米国などのインフレ長期化を受けて米連邦準備制度理事会（F R B）の大幅利上げへの懸念が高まったことや、景気減速懸念などから下落しました。10月後半以降は、堅調な企業決算が発表されたことや、インフレ鈍化を示唆する一部の米経済指標などを受けて、F R Bによる利上げペースの鈍化期待が高まったことなどから上昇し、期間を通じてみると上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Aコース (為替ヘッジあり)

グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質外貨建資産については対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボト

ムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。

主な新規組入銘柄

メルク (米国)：同社主力のがん免疫治療薬「キイトルーダ」への期待やパイプラインを評価したことなどから新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

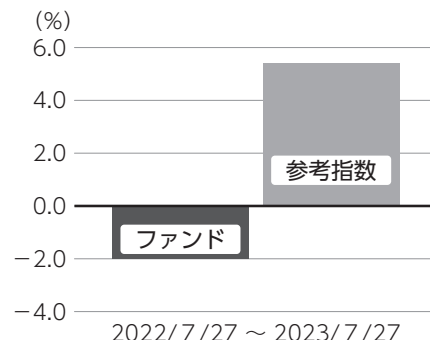
ブリストル・マイヤーズ スクイブ (米国)：他の有望な銘柄への投資を優先したことなどから全売却しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数については最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第23期 2022年7月28日～2023年7月27日
当期分配金（対基準価額比率）	100 (0.256%)
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	29,033

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Aコース (為替ヘッジあり)

引き続き、グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。な

お、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。

個別企業の長期的な収益成長力などを評価し、個別銘柄の選別を行い、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる企業を中心に投資を行っていく方針です。今後、バイオテクノロジー技術の発展や、医薬品、医療サービスへの価格抑制圧力は企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想され、個別銘柄の選別がより重要と考えています。また、短期的に株価が上昇した銘柄を一部売却し、逆に株価が下落した銘柄を買い増すことで、リスクを低下させつつ魅力的な運用成果の追求をしていく方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

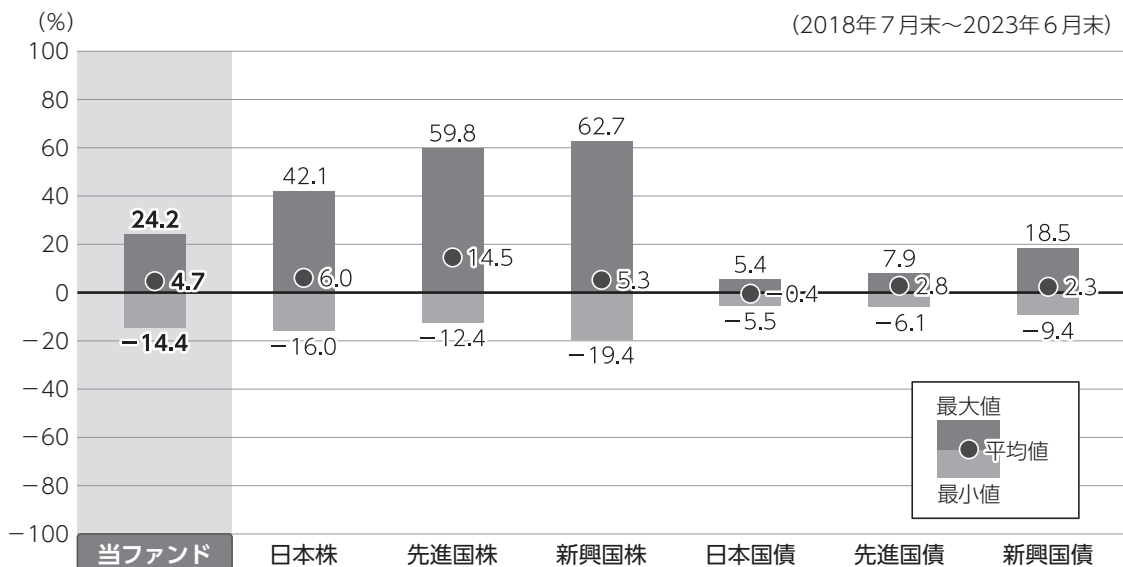
- ・三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限 (2000年7月28日設定)
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド 世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式</p>
運用方法	<p>世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行います。</p> <p>原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</p> <p>マザーファンドの株式等の運用指図に関する権限は、ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</p>
分配方針	<p>毎年7月27日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円 (10,000口当たり) を超えている場合に、当該超過分の範囲内で分配しますが、信託財産の成長を優先し、分配を抑制する場合があります。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。)</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年7月から2023年6月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2023年7月27日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第23期末 2023年7月27日
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	97.1%

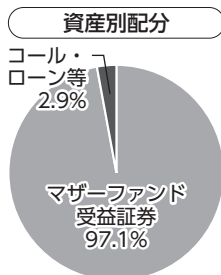
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

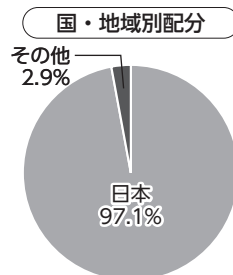
項目	第23期末 2023年7月27日
純資産総額 (円)	1,695,915,894
受益権口数 (口)	434,482,267
1 万口当たり基準価額 (円)	39,033

※当期中において追加設定元本は51,006,674円
同解約元本は 102,114,329円です。

種別構成等

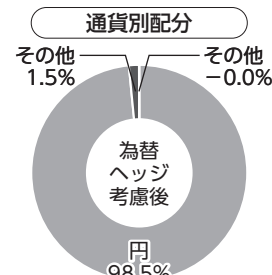


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】は、組入ファンドの発行地を表示しています。



154003

2023年7月27日現在

組入上位ファンドの概要

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

基準価額の推移

2023年1月27日～2023年7月27日



1万口当たりの費用明細

2023年1月28日～2023年7月27日

項目	第227期～第232期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株式)	15 (15)	0.011 (0.011)
(b)有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.007 (0.007)
(c)その他費用 (保管費用)	10 (10)	0.007 (0.007)
合計	34	0.025

作成期中の平均基準価額は、135,970円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：73銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	8.3
2	ELI LILLY & CO	株式	アメリカ	医薬品	6.5
3	MERCK & CO. INC.	株式	アメリカ	医薬品	5.7
4	ASTRAZENECA PLC	株式	イギリス	医薬品	4.9
5	PFIZER INC	株式	アメリカ	医薬品	4.4
6	NOVARTIS AG-REG	株式	スイス	医薬品	3.9
7	DANAHER CORP	株式	アメリカ	ライフサイエンス・ツール/サービス	3.9
8	ZOETIS INC	株式	アメリカ	医薬品	2.3
9	STRYKER CORP	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	2.3
10	BOSTON SCIENTIFIC CORP	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	2.2

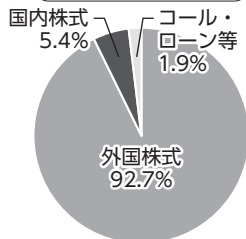
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※業種はGICS (世界産業分類基準)の産業分類によるものです。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS & Pに帰属します。

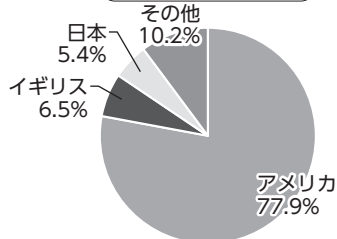
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

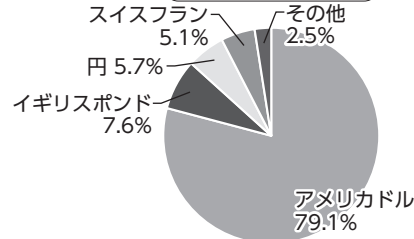
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数について

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引後配当込み）の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時（2000年7月28日）を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的は一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J P モルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイド

J P モルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信